23　老朽下水道管対策事業の推進について

本市の下水道は昭和２７年から整備を進めており、今後、急激に老朽下水道管が増加する傾向にあることから、老朽下水道管に起因する事故を未然に防止するために、計画的で効率的な改築を進めていく必要があります。

つきましては、今後、急激に増加する老朽下水道管の改築には多額の経費と期間を要することから、**老朽下水道管の対策事業が計画的、かつ、継続的に進められるよう事業費の確保**について格段の配慮をお願いします。

１．事業年度　　平成２２年度～平成３１年度
（うち工事期間　平成２４年度～平成３１年度）

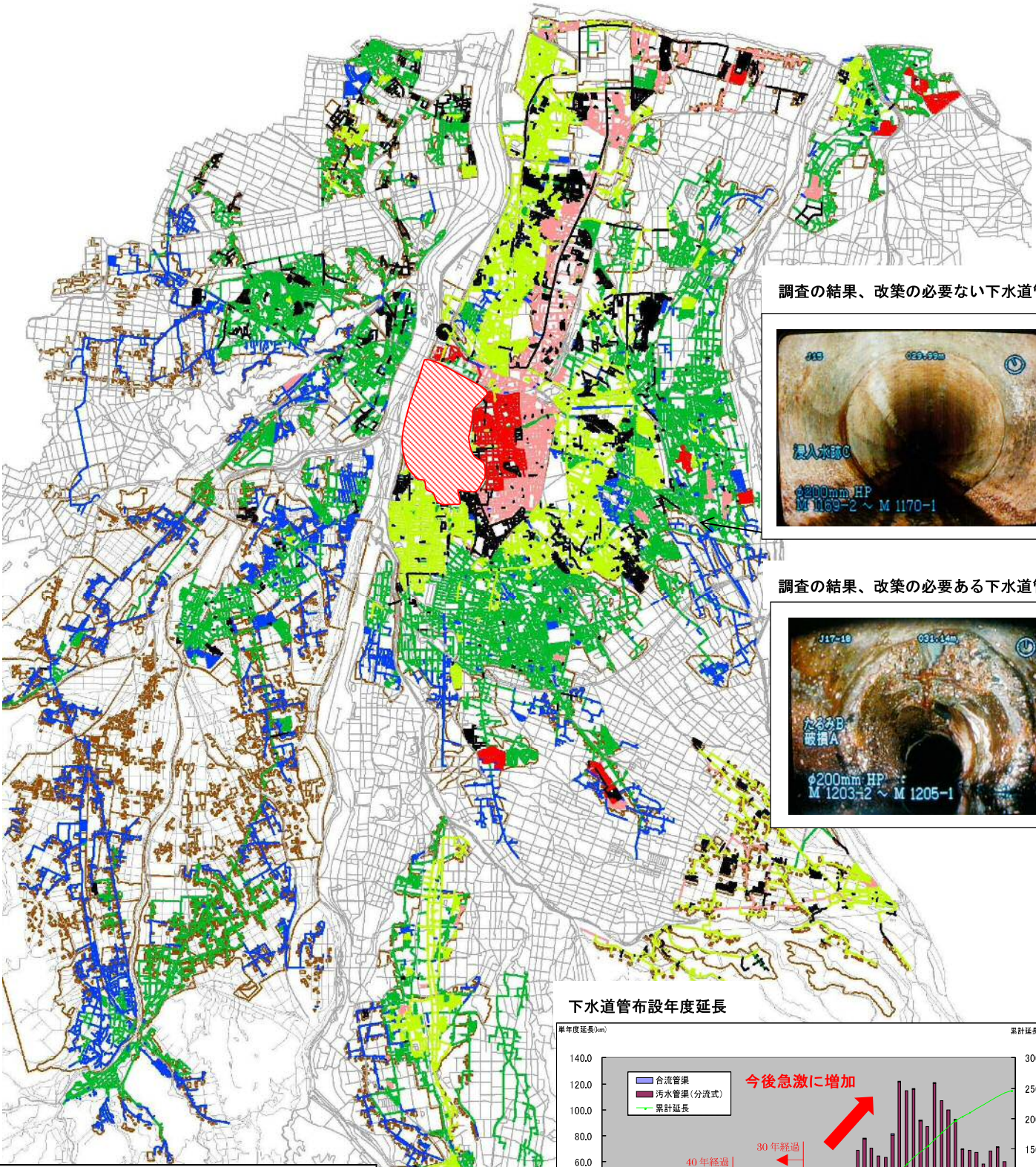
２．総事業費　　約９，７５０百万円

３．事業概要　　調査・点検　　約２５０ｋｍ
（３０年を経過した分流式下水道管）
改築工事　　約６２．５ｋｍ
（調査の結果、劣化の著しい下水道管）

４．平成２９年度事業費

調査・点検等	約４３ｋｍ	３２４百万円
改築工事	約　９ｋｍ	１，１８０百万円
	計	１，５０４百万円
国庫支出金		７５２百万円
企　業　債		５３１百万円
自 主 財 源		２２１百万円

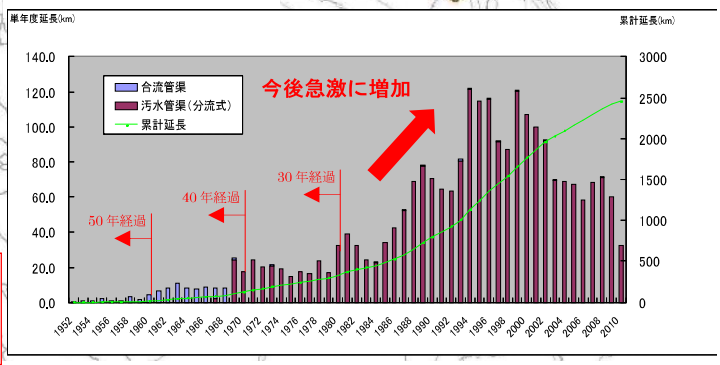
老朽下水道管対策事業位置図



調査の結果、改築の必要ない下水道管

調査の結果、改築の必要ある下水道管

下水道管布設年度延長



凡例	
	40 年経過～
	39～30 年経過
	29～20 年経過
	19～10 年経過
	～9 年経過
	合流式下水道区域

老朽下水道管の

調査・点検・改築

H22 基準年　　単位：km

	～50年	49年～40年	39年～30年	30年以上	29年～20年	19年～10年	9年～	合計
合流管渠	14.6	64.8	0.5	79.9	1.9	4.0	1.4	87.2
汚水管渠（分流式）	0.0	43.9	207.2	251.1	464.0	965.8	687.2	2,368.1
富山市合計	14.6	108.7	207.7	331.0	465.9	969.8	688.6	2,455.3
累計延長	14.6	123.3	331.0		796.9	1,766.7	2,455.3	-
累計割合	0.6%	5.0%	13.5%		32.5%	72.0%	100.0%	-